



答えは 12 ページに

議会だより

第46号

もくじ

6月定例会……………	12	第3回臨時会……………	13
条例などの審議結果……	12	一般質問……………	14
各会計補正予算……………	13	編集後記……………	16

6月 定例会

令和7年第2回定例会が6月11日(水)に開催され、諮問1件、専決処分事項の承認2件、財産取得2件、工事請負変更契約1件、村道認定2件、令和7年度各会計補正予算2件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。また、人吉医師会と球磨郡医師会の連名で提出された請願については、産業厚生常任委員会に審査を付託した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
報告第1号	令和6年度水上村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	年度内に支出が終わらなかった13事業を翌年度に繰越し	報告
報告第2号	令和6年度水上村一般会計事故繰越繰越計算書の報告について	年度内に支出が終わらなかった5事業を翌年度に繰越し	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	いわさきあけみ 若崎明美氏(湯山本野)の推薦	賛成 (全員賛成)
議案第1号	専決処分事項の承認を求めることについて(水上村税条例の一部を改正する条例)	地方税法等の改正に伴う条例の一部改正	承認 (全員賛成)
議案第2号	専決処分事項の承認を求めることについて(水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	地方税法の改正に伴う条例の一部改正	承認 (全員賛成)
議案第3号	財産の取得について(スポーツサイエンス事業)	スポーツサイエンス施設整備に伴う備品の取得	可決 (全員賛成)
議案第4号	財産の取得について(学習用タブレット)	学習用タブレットの更新に伴う備品の取得	可決 (全員賛成)
議案第5号	工事請負変更契約の締結について(林道梅木鶴線災害復旧工事)	林道梅野木鶴線災害復旧工事に係る変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第6号	村道の廃止について(村道石舟五本松線)	村道石舟五本松線改良に伴う終点の変更による廃止	可決 (全員賛成)
議案第7号	村道の認定について(村道石舟五本松線)	村道石舟五本松線改良に伴う終点の変更による認定	可決 (全員賛成)
請願第1号	人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願	人吉球磨准看護学院への負担金増額とふるさと納税の活用を求める請願	産業厚生常任委員会に付託 (継続審査)
	議員派遣の件について		可決 (全員賛成)
	継続審査申出書について		可決 (全員賛成)



「表紙の写真の答え：千光山生善院(猫寺)」

天正十年(1582年)、住職盛譽法印は謀反の疑いを着せられ、相良藩主忠房公に討たれ非業の死を遂げた。無実の罪を着せられたことを知った住職の母玖月善女は相良氏を恨み、愛猫の「玉垂」を伴い、21日間も市房神宮に籠もった。最後には、玉垂に怨霊となり相良氏を祟るように言い含め、茂間ヶ淵(湯山ごしんさん)に玉垂と共に身を投げ亡くなった。その後、この猫が相良氏のもとに化けてでるなど相良藩の中で次々と奇怪なことが起こった。そこで、相良藩は祟りを鎮めるためにお寺を建て、盛譽法印と玖月善女、玉垂の霊を供養した。その寺が「生善院(猫寺)」なのです。



各会計補正予算

令和7年度水上村 一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に3,000万円を追加し、総額を**61億1,000万円**とするもの。球磨川復興トレイルラン負担金500万円、産業振興施設等整備事業補助金240万円、水上村産業推進協議会貸付金1,000万円、地域衛生通信ネットワーク整備費負担金680万円などの事業が追加計上された。

令和7年度水上村国民健康保険特別 会計(直診勘定)補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に23万9千円を追加し、総額を**2億7,793万9千円**とするもの。

第 3 回 臨 時 会

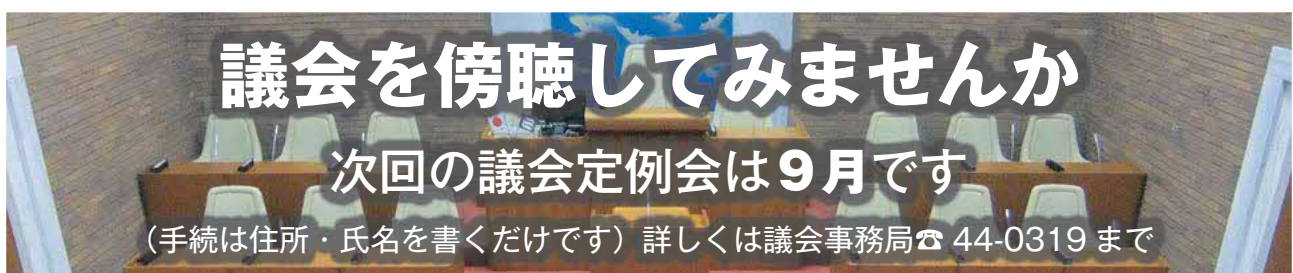
令和7年第3回臨時会が7月2日(水)に開催され、工事請負契約5件、令和7年度一般会計補正予算などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

○条例などの審議結果(補正予算を除く)

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	工事請負契約の締結について(旧湯山小学校改築工事)	旧湯山小学校改築工事に係る工事請負契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第2号	工事請負契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事(2工区))	陸上競技場用地造成工事に係る工事請負契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第3号	工事請負契約の締結について(水上村陸上競技場用地造成工事(3工区))	陸上競技場用地造成工事に係る工事請負契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第4号	工事請負契約の締結について(林道上米良大平線災害復旧工事(その②))	災害復旧工事に係る工事請負契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第5号	工事請負契約の締結について(林道梅木鶴線災害復旧工事)	災害復旧工事に係る工事請負契約を締結	可決 (全員賛成)
	継続審査申出書について		可決 (全員賛成)

令和7年度水上村 一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に420万円を追加し、総額を**61億1千420万円**とするもの。価格高騰緊急支援給付金事業が追加計上された。



村の現状！今後の見通しは！！

一般質問

Q. 未来へつなぐ公園づくりとは

A. 地域の声をカタチに、共生のまちづくりを目指す



小川 恵 議員

問 唯一、遊具のある公園「ほいほい広場」は、多くの子育て世代を中心に、地域住民の交流や、高齢者の健康づくりに利用されている。現在の清掃や公園管理はどのように実施されているか。

答 産業振興課長

公園内整備（トイレ清掃・剪定・草刈り等）はシルバー人材センターへ委託。その他、月1回遊具等の点検で職員が巡回している。

問 法令化された定期点検により指摘があった、ムササビ君とローラー滑り台の補修を予定されているが、それに伴う日程や、利用者への周知・安全対策についての考えは。

答 産業振興課長

年内完了を目標とし、補修期間が決定次第、現地での周知、回覧、HP等でお知らせする。また補修期間中は周辺の立ち入りを制限する。



補修予定のほいほい広場のムササビ君

問 「インクルーシブ」は誰もが共に生きる社会を目指す考え方であり、村内でもその実現に向けて、インクルーシブ遊具の導入を計画的に進める考えはあるか。

答 産業振興課長

多様な人々が楽しめるインクルーシブな遊具に関し、貴重な提案として今後、検討していく。

問 子育て世代を対象としたアンケートから、多くの子育て世代が「安全な遊び場の不足」や「子連れで楽しめる場所の必要性」を感じていることが明らかとなった。公園整備などの環境づくりを進めることは、子育て支援の充実や地域の活性化、さらには観光面においても地域の賑わい創出する可能性があると思うが、村長の見解は。

答 中嶽村長

住民要望を受け、小野台地に平成2年に始動した「カントリーパーク構想」は、稻荷神社周辺の鎮守の森や多自然型公園の要素を含むもの。30年を経て広葉樹の安全管理が課題となり、危険遊具の撤去や時代背景の変化に対応する知育遊具への更新、老朽トイレの再点検も検討されている。インクルーシブ

遊具やSDGs対応の取り組みは、共生社会を目指す上で不可欠と考え、可能な限り取り組む。管理費の確保には補助金やPFI^{※2}制度を視野に入れ、子育て支援を含む多角的な対応を今後検討していく。

※1 インクルーシブ遊具：身体に障がいがある子もいない子も一緒に遊べることが出来る遊具

※2 PFI：公共施設等の建設、維持管理、運営などを、民間の資金や経営能力、技術的能力を活用して行う手法



リニューアルした岡留公園のインクルーシブ遊具

Q. 各地区の公民館を「涼みどころ」として開放する考えは

A. モニタリングを行いながら必要な助成を検討



杉野 貴文 議員

上球磨消防組合 熱中症救急搬送状況

【年／救急搬送者総数】			
平成27年	7人	令和2年	32人
平成28年	23人	令和3年	12人
平成29年	19人	令和4年	20人
平成30年	23人	令和5年	34人
令和元年	18人	令和6年	56人

令和6年搬送総数56人の内訳			
【年齢区分別】		【発生場所別】	
0～19歳	9人	屋内 35人	住居 25人
20歳代	2人		仕事場 6人
40歳代	4人		教育機関 2人
50～64歳	4人	屋外 21人	公衆 2人
65歳以上	37人		公衆屋外 11人
			道路 6人
			その他 4人

問 昨年の夏は、例年にも増して猛暑に見舞われたが、今年の気象庁による向こう3か月間の長期予報においても、平均気温が高くなる見込みとなっている。今後、広域的に熱中症による救急搬送者数の増加により、医療の提供に支障が生じるような事態も危惧されるが、近年の上球磨消防署管内の状況は。

答 保健福祉課長

令和6年の熱中症による救急搬送は、56人で平成27年から令和5年までの9年間の平均である21人に対し、2.7倍の高い搬送率となり近年は増加傾向にある。(詳細は別表のとおり)

問 熱中症は、統計資料にあるように室内で過こされている高齢者が罹患する可能性が高く、命の危険を伴う健康被害が深刻化している。エアコン等の使用を我慢されたり、短い稼働時間の設定が要因ではないかと思われる。そこで、暑さが本格化する7月から残暑厳しい10月頃までの必要な期間、各地区の公民館を「涼みどころ」として開放し、冷房設備使用による電気料金の上昇分を区に助成することにより、住民が気兼ねなく公民館を使用でき熱中症予防の一助となると考えるが。

答 保健福祉課長

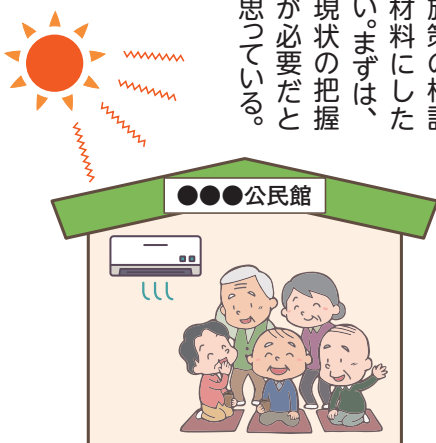
身近にある地区の公民館は、距離的にも休憩先として利用しやすいと思う

が、公民館の開放には鍵の管理など区においての対応が必要となる。区と協議し公民館を利用することの了解が得られたうえで運用することになった場合、区の負担も発生するので村で必要な助成を検討しなくてはならないと考えている。

問 まずは各地区の公民館を「涼みどころ」として開放、利用することについて住民への意向調査をはじめ、試験的なモニタリングを行うことや併せて助成金算定のための電気料金調査に取り組んではどうか。

答 保健福祉課長

村としても各区の公民館を熱中症対策として開放することは、利用者がいることが前提であるので7月の区長会の際に説明し意見を伺いたいと思う。併せて、電気料金等のモニタリングを行いながら、現在の補助制度のほかに必要な施策の検討材料にした。まずは、現状の把握が必要だと思っている。



頻発・広域化する災害対応に向けて

災害対応力強化に不可欠な「防災DX」の活用

5月27日(火)、全国町村議会議長会主催による、「全国町村議会議長・副議長研修会」が東京国際フォーラムにて開催され、議長・副議長で参加した。

講演では、広域災害時による自治体間の情報共有に役立つ新総合防災システムや物資支援の広域連携、災害発生時の議会の役割、災害発生後の復旧・復興のまちづくりなどについての講演があった。



国際フォーラムでの研修の様子

村民のみならず自治体職員も被災する可能性があり、大規模災害時の対応について、複数の視点から解決の糸口を探るための研修となった。

◆広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」

講師：内閣府政策統括官付参事官 ^{まつもと しんたろう} 松本 慎太郎 氏

◆平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題 …自治体実務の立場から…

講師：明治大学名誉教授 ^{あおやま やすし} 青山 侑 氏

◆災害と議会・議員の役割

講師：同志社大学名誉教授 ^{にいかわ たつろう} 新川 達郎 氏

熊本県選出国會議員へ要望活動

各郡からも 18 件の要望書を提出

5月28日(水)、熊本県町村議会議長会の主催による、熊本県選出の国会議員の方々をホテルグランドアーク半蔵門にお迎えし、町村が抱える問題について、県町村議会議長会から3件、各郡から18件の要望・意見交換を行った。

いずれも生活に直結する課題であり、早期実現が望まれている。

編集後記

杉野 貴文

にぎやかなアブラ蟬の音が鳴り響き、いよいよ本格的な夏の到来ですね。夏の風物詩のひとつである「土用の丑の日」。この日は、うなぎを食べるご家庭もあるでしょうが、なぜうなぎを食べるようになったのかご存知でしょうか？諸説あるようですが、ひとつには江戸時代の発明家として多彩な才能を発揮した平賀源内によるものです。当時、コピーライターとしても活躍していた源内は、夏場の業績不振に悩んでいたうなぎ屋のために「本日『土用の丑の日』、鰻食うべし」という看板を出すように勧めたそうです。すると、元々土用の丑の日には、うどん、梅干し、瓜など「う」のつく食材を食べるとよいという俗説もあったことから、そのうなぎ屋は大繁盛しました。それを見た他のうなぎ屋も次々とその看板をまねたことから「土用の丑の日はうなぎを食べる日」ということが広まったといわれています。また、うなぎの蒲焼きにはビタミンB1が多く含まれており、食欲不振や疲労回復など夏バテに効果がある食品といえそうです。まだまだ暑い日が続きます。暑さ対策を徹底し、スタミナをつけて元気に夏を乗り切りましょう！



広報特別委員会

委員長
副委員長

荒嶽 晋
山崎 隆浩
小川 恵
杉野 貴文